

「地域連携パス」とは、脳卒中を発病・再発しても関係機関等との医療連携・情報共有により、急性期から回復期リハビリ医療機関、在宅療養に至るまで、地域で切れ目のない必要な医療や介護サービスを受けられるよう、チームで患者さんを支えていくための仕組みです。

